



玉城 陽平 議員

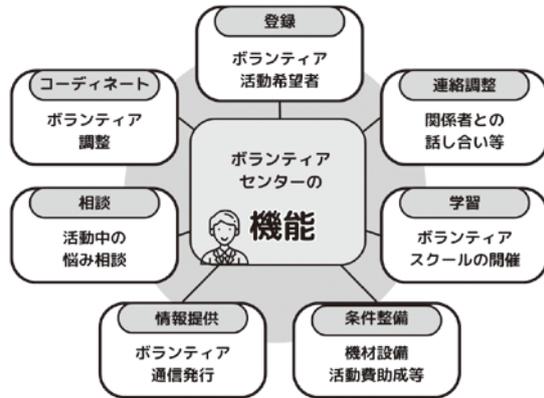
# ボランティアセンター 活動活性化を

答 議論が高まっている重要な取り組みだ



**問** 災害時の対応強化を視野にいれ、平時の地域福祉活動の推進を図ることで、ボランティアセンターの活動活性化すべきだと考えるが、どうか。

**こども課長** 災害時を想定した平時からの取り組みが重要で、まさに議論が高まっている。



一般的なボランティアセンターの機能

**問** 情報提供、参加の呼びかけなど、専門に取り組んでいくコーディネーターの配置、予算の拡充を求めるがどうか。

**こども課長** 若者、自治会に加入していない住民など、取り組みが広がりを見せていない層もある。課題感を共有し今後進めていきたい。

**総務部長** 配置の必要性は実感している。必要性を吟味し、あれば予算措置をしていく。

## 若者支援・ユースワークの推進を

**問** 何故、今ユースワークや若者支援は政策課題となっているか。

**こども課長** フォローの手厚い義務教育以前に比べて、それ以降の若者世代の様々な課題に対しての支援は薄く、行政の受け皿が非常に課題となっているからだ。

**問** 既存施設も活用しながら若者達の居場所づくりなど、若者支援の視点を入れてほしいがどうか。

**生涯学習文化課長** 先進地の状況を研究し取り組めるようにし

たい。

**こども課長** 若者当事者との意見交換も重ね、ユースワークの視点をもった在り方を検討していく。

## 四條畷市をモデルに人材マネジメントを

**問** 人材マネジメントの改革で南風原町と人口規模の近い四條畷市が全国でも有名だ。民間企業出身者も全体の2割、人事戦略の全面改訂、研修等の充実により、職員の働きやすさと住民サービスを両立させた。その結果、採用倍率が3〜4倍から、90倍になり応募も1900人以上になった。ここをモデルに研究してほしいがどうか。

**総務部長** 速やかに人事部門の職員を派遣し調査していきたい。

一こんな質問もしました  
・保育ソーシャルワーカーの配置を問う